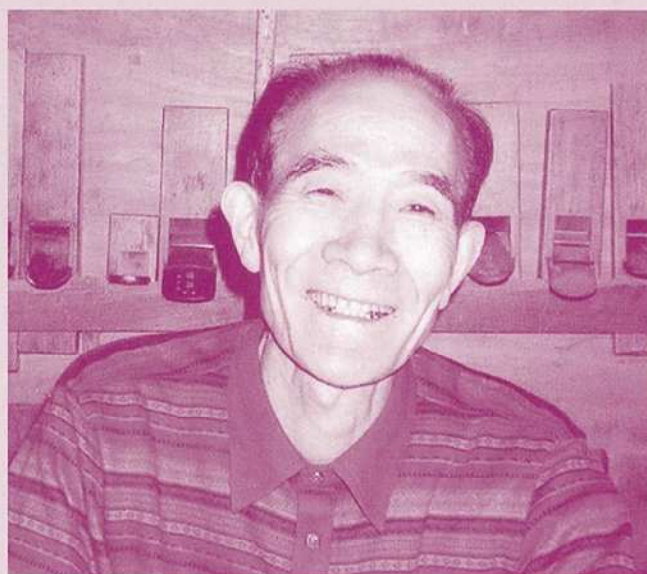


伝統に生きる

—あらかわの工芸技術—



きり
桐たんす

まち だ きん ざぶ ろう
町田金三郎

(平成15年度作品)

16ミリ映画・ビデオ
カラー・27分

プロフィール

住所、荒川区東尾久5-1-7

昭和7年(1932)、荒川区生れ。

平成14年度、荒川区指定無形文化財保持者に認定される。

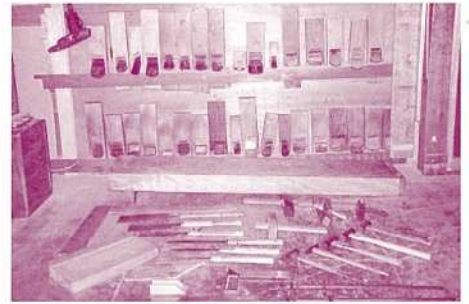
町田さんの父・昇吉さんは、台東区の尋常小学校卒業後、清水市で義兄の前田氏より技術を修得した。大正5年頃に、台東区下谷で開業し、大正12年の震災後、下谷が区画整理となったために現在地に転居した。

町田さんは、昇吉さんの三男として生れた。東京大空襲後、青森県へ疎開し、昭和21年に静岡県清水市に転居。昭和22年に現在地に戻り、その時より、父の下で修業をはじめた。町田さんは、桐材から柁目板(幅の狭い板をはぎ合わせて作った幅の広い板)を作り、桐たんすに組み上げる。桐たんすの木地部分を手がけ、和ダンス、洋ダンス、整理ダンスなどを作る。創作をする一方で、注文にも応じるなど、利用者の便を図っている。後継者として、次男の町田好男さんがいる。

用具・工具・材料

のみ（丸のみ・一分のみ・二分のみ・五分のみ・八分のみなど）、鉋（かん長台・手鉋・溝鉋・丸鉋・際取鉋・ツキ鉋・前鉋・脇鉋・小鉋など）、鋸（のこぎり鋸・釘挽き・まわし挽き・ほぞ挽き鋸・胴づき鋸・畦挽き鋸）、金槌、小刀（小刀・くり剥小刀）、罫引、はたがね、定規、あて板（＝仕事台）、錐（錐、みつめ錐）、ウツギ（5、6種類）、ポンド、電動のこなど。

桐（会津産、南部産）、きはだ、桑、けやき（桐以外の素材は、意匠によって一部使用）。



（用具・工具）

工程 — 『乱盆入大開衣裳箆笥』の場合 —

- (1) 【仕入れ】
丸太をひいて板にし、乾燥・アク抜きをした桐材を仕入れる。
- (2) 【乾燥・アク抜き】
再度1、2ヶ月かけて雨風にさらし、アクを抜く。
後、乾燥させる。
- (3) 【木取り】
桐材の長さを切って荒取りする。
- (4) 【ゆがみ歪直し】
板を焼いて、狂いやゆがみを直す。
- (5) 【板はぎ】
狭い幅の板を寄せ合わせて、適当な幅に柾目板を作る。
- (6) 【練り付け】
柾目板を扉板などに貼り付ける。
- (7) 【ほぞ柄とり】
ほぞ罫引で筋を入れて、たたき落として柄を抜く。
- (8) 【ほぞ胴突き】
棚板の位置を決めて、溝をつく。
- (9) 【がら柄の組み立て】
外装の箱部分である柄を組み立てる。
- (10) 【引出しの組み立て】
引出しの枠を組み立ててから底板を取付ける。
- (11) 【外装の仕上げ】
金具打や色付けなどを仕上げ職人に外注。
- (12) 【総仕上げ】
仕上げ職人から戻ってきたたんすを不具合など無いか、確認する。



（板はぎ）



（完成品）

〈ビデオテープ〉 荒川区内の図書館で貸出ししています。貸出し期間は、1回15日間です。
（図書資料扱いのため）

〈16mm映画〉 荒川区立南千住図書館で貸出ししています。貸出し期間は、1回5日間です。
ただし、団体登録及び16mm映写機講習修了者の操作が義務づけられています。
なお、映写機も貸出ししています。

〈問い合わせ先〉

■内容等に関すること

荒川区立荒川ふるさと文化館・・・3807-9234

■ビデオテープ、16mm映画貸出しに関すること

南千住図書館・・・3807-9221

町屋図書館・・・3892-9821

荒川図書館・・・3891-4349

日暮里図書館・・・3803-1645

尾久図書館・・・3800-5821

荒川区立図書館のホームページ <http://www.library.city.arakawa.tokyo.jp/>